

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

12月

豆腐製造

組合で冷凍豆腐の製造、販売を
検討。試作もできあがり、販路は
確約まであと一歩。設備資金の問
題もあり、慎重に進めている。

牛乳小売

全体的に安売の目立つ状況。

シャツ製造

バーゲン等のため、価格が下が
るのは分かるが、今回は全体が悪
いためひどいと思う。

製材

景況感は悪いままの状態。

製材

12月、南洋材船、米材船各1船
が入港。市場の状況から、仕入時
であり、輸入数量が増加している。

印刷

12月の売上高は11月と比較し、
各社横ばい。来年4月の統一選に向
けて議員からポスター等の仕事が
動き始めた。

生コン製造

具体的物件(流通倉庫、マンション
等)が出て来ており、底入れ感
が出始めた。

電気鍍金

12月に入り、一段と景況は悪化
してきているようだ。

鉄工業

「デフレの継続」、「円高の定着」
等々の要因もあり、これまで続いて
きた回復傾向の流れにブレーキが
かかり、鉄鋼関連を中心とする組
合員各社において停滞色が強まっ
てきている。

機械部品製造

昨年より厳しく、一段と深刻さ
を増している。

機械部品製造

景況の変化はなく、なかなか上
向きになっていない業種である。

土砂採取業

公共事業投資がなく、骨材需要
が減少し、各企業は事業運営に苦
慮している。

総合卸売

猛暑の影響で、鶏卵の価格が高
騰。年間利幅契約にて採算は取れ
るものの、決済額増加により資金
繰りに影響が出てきている。

建築材料卸売

需要はやや持ち直しているが、
価格低迷、収益は改善していない。
中断していたマンションの建築が再
開したこともあるが、官需の息切

自動車解体業

スクラップ価格は上がってきてい
るが、玉不足のため、使用済み車
の仕入れ価格がそれを上回る勢い
で上昇している。その結果、かなり
利益が出しにくい状況。

小売

消費者の購買意欲は低い。

電気機器小売

12月からエコポイント半減にと
もないカラーテレビの売上が、2割
3割に落ち込んだ。

青果小売

年末にかけて相場が下落したた
め、売価が安定し、販売しやす
くなった。また、資金繰りも安定傾
向となった。

小売

クリスマス・年末商戦共に活気
があったのは各々2日間位、堅実消
費は完全に定着したなど実感。

中古車仕入・販売

直販やや好転気配。

小売

前半のボーナスシーズンは、期
待をしていたほど数字が伸びな
かった。後半は、気温も下がって

小売

クリスマス商戦はイベント開催の
影響で客足が伸び、売上も多少前
年を上回ったが、年末は売上が伸
び悩み、結局前年比を下回った。

農業機械販売整備

PPPの加入の動きの不透明感
により、需要の落ち込み要注意。

印鑑小売

年賀状印刷が年々大幅に減少。
高齢化社会なので、喪中欠札挨拶
状の印刷で少しでもカバーする。

小売 サービス

近隣に大型店が3店ほぼ同時に
開店。客の流れが変わってしまった
感がある。特に飲食関係はかなり
の影響か。商店街としての魅力を
上げないと駐車場完備の店舗に顧
客を益々持つて行かれてしまう。

小売 サービス

悪いまま上がる気配がないしそ
の要素もない。

建設揚重

前年並みの動きはあるが、以前
需要の低下と低価格が続いている。

害虫防除

外來種の相談件数が増加。しか
し、受注には至っていない。

遊覧船

北日本の大荒れの天候(日本海
に低気圧の発達したのが入ると太
平洋側は南西の風が吹き荒れる)
の影響で、欠航が多かった。

一般廃棄物処理

年末の繁忙期だが、期待した程
状況は良くなかった。

学習塾

財務状況は昨年末と変化なし。

土木建築サービス

事業量は本年度も減少し厳しい
状況は変わらない。

ソフトウエア

売上高の前月比増加は、12月(年
内売上)という事情があると思わ
れる。

建設業

受注額は多少減少したものの、
収益状況は横這い。

貨物運送

取引高は前年、前月と比較して
いずれも少々ではあるが増加した。
せめてこのままの状態を維持して
いきたい。

輸出入業

12月の売上は前月比、前年同月
比とも減少した。